

南北海道動物愛護ネットワークみらい ペット飼い主探し6年半

犬猫の譲渡 630匹超す

地域情報版

第5548号

みなみ風

◆北海道新聞函館支社◆

情報提供は ☎ 0138-32-5193
 フリーFAX 0120-324-072
 掲載写真の購入は ☎ 0138-32-5118
 有料広告は ☎ 0138-32-5124

◆12日水◆ 高齢者健康づくり教室
 「楽しく踊って健康づくり」
 午後1時、函館市総合福祉センター(若松町33)。函館市体育振興会の中村玲子さんの指導で歌謡曲などに合わせたレクリエーションダンスを楽しむ。60歳以上対象。無料。老人福祉センター ☎ 0138・23・5997

◆14日金◆ 五稜郭の文化価値を考える会講演会第6回「五稜郭と箱館戦争」
 午後6時、函館市中央図書館(五稜郭町26)。宮城学院女子大の菊池勇夫教授が明治維新前後の政治動向や戦時下の箱館奉行所の機能を紹介する。無料。直接会場へ。佐々木さん ☎ 090・8274・3153

◆15日土◆ 暮らしに役立つ法律講座「相続・遺言等について」
 午前10時、函館市地域交流まちづくりセンター(末広町4)。法テラス函館法律事務所の高西秀和弁護士を講師に迎える。資料代500

NPO法人「南北海道動物愛護ネットワークみらい」が保護し、新しい飼い主に譲渡した犬猫が、累計で600匹を超えた。熊谷昭一理事長(右)は「ペットは家族の一員として終生責任を持ち、大切にしてほしい」と訴える。同団体は将来的な目標として、行き場のない道南地区の犬や猫を収容し、希望者に譲渡したり、犬猫が余生を過ごせたりする施設「動物愛護センター」の設置を目指している。(押野友美)

みらいは、2010年に函館市内や近郊を中心にそれぞれボランティアで動物愛護活動に取り組み個人や家族らが連携する組織として発足。14年にNPO法人の認証を受けた。現在メンバーは17人。道南の保健所などから処分される犬や猫を対象に引き取り、メンバーが自宅などで保護しながら、必要があれば病院で治療を受けさせるなどの世話をし、譲渡会を開いて、新しい飼い主を探している。市民からの引き取りはしていない。

約1600匹。常にメンバー全体で犬猫100匹以上を飼養しており、えさ代、治療代などで多額な費用がかかっていた。昨年度は年間約410万円の支出があり、ホームセンターなど道南の約30カ所に設置した募金箱に寄せられたお金と寄付を合わせた約123万円以外は、メンバーそれぞれが自己負担でまかなっている。

保護施設の設置が目標



人と動物が共生できる心豊かな地域社会を目指し、犬猫の保護活動に取り組む「みらい」のメンバー

新しい飼い主を探す譲渡会は、4年ほど前から市内美原のパチンコ富士を会場に使わせてもらっていることになり、天候に左右されず定期的に開けるようになった。同所では通常、日曜午前10時半から正午まで譲渡会を開き、同時に犬猫の病院代やえさ代を捻出するフリーマーケットも実施。平均10人前後の来場があり、1、2匹が譲渡されているという。パチンコ富士のほかにも譲渡会の開催や犬猫の治療代、寄付に協力している企業、病院、店舗がある。

同団体が目標に掲げるのは、命の大切さを伝えることができる「動物愛護センター」の設置だ。熊谷理事長は「動物の保護施設を道南地域に作り、当法人と市民ボランティアで運営したい。出来れば行政にも参加してほしい」と話している。

みらいでは企業などの協力を呼びかけているほか、募金箱の設置場所も募っている。問い合わせはみらい ☎ 090・7645・1145へ。